

みょうばんおんせん  
明礬温泉  
てるゆおんせん  
照湯温泉

べっぶし おぐら くみ  
別府市 小倉5組-1



ふる しんざん つるみさん ふもと わ  
古くから神山とされた鶴見山の麓から湧く、

みすじ ゆみやく うち ちゅうおう げんせん  
三筋の湯脈の内の中 央の湯脈が源泉で、

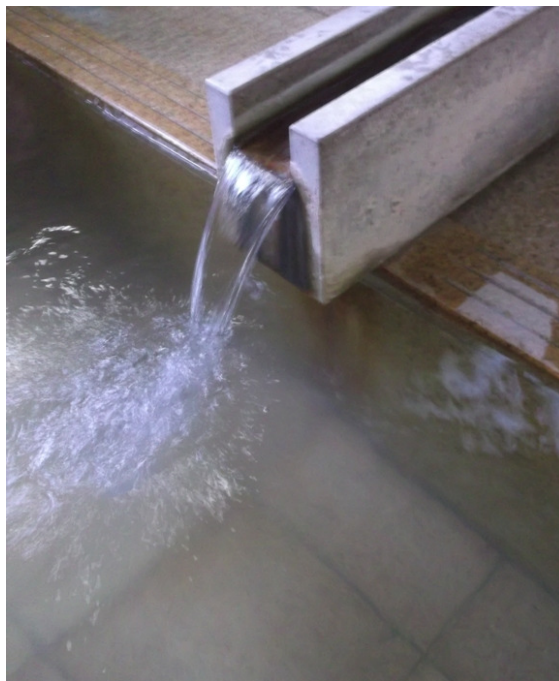
むかし べっぶ ほか たか ばしょ  
昔は、別府の他のどの温泉よりも高い場所にあるものだったそうです。

しんだい おおなむち みことおんそせい ゆげん ふる ゆ  
『神代のいにしえへ大己貴の命御蘇生の湯源たる古きいで湯』

い  
とも言われた源泉だそうです。

せんしつ たんじゅんおんせん ペーはー  
泉質 / 単純温泉 PH 6.5

げんせんおんど  
源泉温度 / 98.1℃



じょうたい ひ ちが  
お湯の状態は、日によって違うようですが、

すこ ゆ はな ま  
この日は、少しにごりがあって、湯の花が舞っていました。

いおう かお かん  
ほんの少し硫黄の香りがして、とてもやさしい感じのお湯でした。

はい とき いおうせん おも  
入った時に硫黄泉なのかなと思いましたが、

せいぶんひょうじ  
成分表示は単純温泉となっています。

どいじょう あつ ふつう すいどうすい かすい  
源泉の温度が90度以上と熱いため、普通の水道を加水して

ちょうせつ  
温度を調節していました。

ひと　じゆう　みず　りょう  
入った人が、自由に水の量を調節していいようです。

よくしつ　ま　なか　しほうくらい　ゆぶね  
浴室は、真ん中に3メートル四方位の湯船があり、

そこに源泉からのお湯と水道水が流しこまれているだけで、

他には、『飲料水』と書かれたホースが巻かれた蛇口が

ひとつあるだけのとてもシンプルな造りでした。

せんめんき　お  
(洗面器とイスは、置いてあります。)

まちなか　おな　ところ  
別府の街中の小さな温泉には、同じような造りの所がよくあるみたいです。

ねんごろ  
この照湯温泉は2003年頃までは、

じもと　はい　こんよくおんせん　かいちく　きかい  
地元の人だけが入れる混浴温泉だったのを改築を機会に

だれ  
誰でも入れるようにしたのだそうです。

もっと　ひとつ　にんき  
別府で最も古いといわれる秘湯として人気があるようです。



いちく とのさま ゆ  
古くからあった浴室を移築した『 殿様の湯 』と、

ぶんご くに もりはん つか  
( 豊後の国、森藩の殿様が使っていたので、その名がついたそうです。 )

あたら ひめさま ゆ  
新しく造られた『 姫様の湯 』とがあり、

ひが だんじょ い か  
日替わりで男女が入れ替わるそうです。

まちが  
ちょっと間違えてしまいそうですね。(^-^;)



うえ しゃしん ほう  
上の写真は、新しい湯船の『 姫様の湯 』の方です。



うつ  
上の写真には写っていませんが、

しょうめん つるみだけ つるみさん み  
温泉の正面に、鶴見岳（鶴見山）が観えます。

照湯温泉

TEL(090)3736-8139

営業時間 9:00～21:00

料金 200円

（2012年12月現在）